

工場主ハ本月二十五日終業、際ハ人ニ對シ解雇方  
ヲ通告シタルカ、公曰ハ其依退場シ翌二十六日正  
午ニ至リ同志仲銅五組合員由川重吉(中川、小田、法、柳、  
早保、釋、中、天ノ)、應援ヲ得テ同伴五場主ニ面會シ復  
職方ヲ懇願シタルモ言下ニ之ヲ拒絶シタルヲ以テ  
其後、全人ハ五場監督者ノ隙ヲ窺ヒ五場内ニ出  
入シ一般職五ノ同情ヲ求ムルト同時ニ別紙第一ノ印  
刷物ヲ五場内ニ貼付スル等内部職五ノ團結ヲ促  
シ具體的運動促進ニ努メタル模様ニテ遂ニ本  
二十八日正午ニ至リ別紙第一、五十二名ヨリ成ル因  
五郎解雇手当ノ件外五項目ニ涉ル嘆願書ヲ  
代表者 青木 林田 熊五郎ヨリ五場主ニ提出シ之カ  
回答ヲ明二十九日午前中迄ニ求ムル處アリタ  
リ而シテ五場主ノ意嚮トシテハ要求ノ大部ハ  
ハ拒絶スルノ模様ナルカ職五中ニハ数名ノ仲銅  
五組合ニ加入セルモノアリテ組合カ背景ニ  
關係セル以上回答ノ如何ニヨリテハ相當紛糾

ハ免レサルモノ、如ク經過注意申キ有之  
右及申(通)報候也

別紙第一

嘆願書

今般左記通リ職ニ一同連名ヲ以テ嘆願仕リ候ニ付此般御聞届下サレ  
度候

一 解雇手当制定ノ件

六ヶ月未満、勤続者ハ平均日收三十日分六ヶ月以上一ヶ年末満一ヶ月ヲ増ス毎ニ  
二日分一ヶ年以上一ヶ月ヲ増ス毎ニ三日分

二 退職手当制定ノ件

三ヶ年以上ノ勤続者ニシテ止ムヲ得スシテ退職スル場合ハ解雇手  
当ノ十分ノ八

三 負傷手当制定ノ件

工務ニ依リ負傷シテ休業スル場合ハ平均日收ノ全額工務ニ依リ  
負傷シ終身自由ヲ得スルアタハサレ者ニハ平均日收三百日分  
終身退職ニ就ク能ハサル者ニハ全額ニ百五十日分自休ノ日ニ復  
スル能ハサル者ニハ二百日分